

# 広畑タイムズ

## 家庭と学校をつなぐ二小便り

令和2年3月3日発行  
第392号  
大野第二小学校  
校長 千葉英一



### 修了式で予定していた校長式辞全文ご紹介

記録的な暖冬だった今年の冬でしたが、それでも冬は冬でしたね。山や野の木々に春の気配が濃くなるにつれて、不思議と心も浮き立つように感じられます。新しい命の芽生えは、私たちの心の中にまで、力を注ぎ込んでくれているかのようです。

4か月で終わった平成31年。お正月がなかった令和元年。日本がワンチームになったラグビーワールドカップ。東日本台風によるさまざまな被害。そして新型コロナウイルス。今年度もいろいろなことが世の中ではありましたし、皆さんの生活に影響のあった事柄も多かったと思います。

しかし、皆さんは、この一年間、一生懸命になって学校生活を送ってきました。自分のやるべきことをしっかりと見据え、お家の方や先生方のいうことをよく聞いて、学習や運動などに全力で取り組み、大きく成長することができました。

一年生は、一人で学習を進められるようになりました。休み時間の運動量は全校児童の中でも一番です。

二年生は、いつでも仲良く生活することができました。そして体と心が大きく成長しました。パプリカダンスはととてもすばらしいものでした。

三年生は、深く考えることが多くなりました。いろいろなことを調べたり自分の考えを持ったりすることができました。大きなステップアップです。

五年生は、海の子山の子ふれあいツアーを通じてたくさんの友だちができました。そして行動に責任感が見られるようになり、とても頼もしくなってきました。

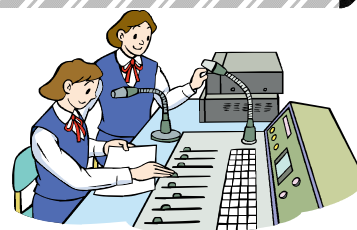
六年生は、素晴らしさに磨きがかかりました。皆さんそれぞれの個性が際立ち、ぐんぐん力をつけてきていることはとてもうれしいことです。

皆さんの元気な笑顔に救われる思いをしたことは数えきれません。いつでも元気に頑張ってきた皆さんのことを誇りに思うと共に、お礼を申し上げたいと思います。どうもありがとう。

今日で六年生が卒業します。そして四月六日に一年生が二人入学してきて、新しい大野二小がスタートします。いつでも新しい水が流れ、新しい風の吹くところに、命は芽生えます。そこで止まったり、これでいいやと思ったりした時に、進歩は止まってしまうかもしれません。皆さんには、いつでも新しく、輝かしくて、今よりも絶対によい未来を信じて、築き上げていってほしいと思っています。

令和二年度も、常にとどまることなく前進していけるエネルギーを春休みに蓄え、始業式にとびっきりの笑顔を見せてくれることを大いに期待して、お話を終わります。

このような文章を用意していましたが、放送による修了式となったので、もっと短く、命を守る行動についての話が中心となりました。コロナウイルスに負けず、令和2年度も何事にも元気に、そして一生懸命に行動してくれることを期待しています。始業式に会いましょう！





1年前の笑顔です。心身ともに成長した皆さん。素晴らしい活躍でした。



そして11か月後の写真です。大きくなった様子がわかりますね。

保護者の皆様方には、たいへんお世話になりました。厚く御礼申し上げます。現在のコロナウイルスが終息したら、いよいよ大切な令和2年度が始まります。来年度も、なにとぞよろしく願いを申し上げます。幸せがあふれる一年になりますことをお祈りします。